

チャバネアオカメムシの越冬状況（令和8年2月調査）

ナシ、カキ、リンゴなどの重要害虫であるチャバネアオカメムシ（写真）について、越冬数の調査結果をお知らせします。

本年2月上～中旬に山林の表層土を含んだ落葉を1地点当たり300採取し、チャバネアオカメムシの越冬成虫数を調査しました。落葉の採取は常陸太田市、水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、行方市、鉾田市、石岡市、つくば市、桜川市の合計42地点で行いました。

その結果、越冬成虫数（本年値2.1頭、平年値2.3頭）は平年並、越冬地点率（本年値55%、平年値41%）は平年並～やや高くなりました（表）。

本年を含む過去11年間の越冬状況の推移をみると、越冬成虫数・越冬地点率ともに多い年と少ない年を交互に繰り返しており、本年は多い年にあたります（図）。また、過去11年のうち越冬成虫数・越冬地点率ともに多かった年の越冬世代成虫の果樹園への飛来数（4～7月）は、平年よりやや多い値で推移する傾向にあります（データ省略）。そのため、令和8年の4月から7月までの越冬世代成虫の飛来数は平年よりやや多いと予測されます。

病虫害防除所では果樹カメムシ類について、予察灯調査（4～10月）や、サクラにおける発生量調査（4～5月）を行いますので、今後発表する情報を参考にしてください。

表 チャバネアオカメムシの越冬状況

調査項目	令和8年2月		平年 ³⁾
	調査値	順位 ²⁾	調査値
越冬成虫数(頭) ¹⁾	2.1	5位	2.3
越冬地点率(%)	55	4位	41

1) 成虫数／落葉30リットル

2) 本年を含む過去11年中の順位

3) 平成28～令和7年の平均値



写真 チャバネアオカメムシ（成虫）

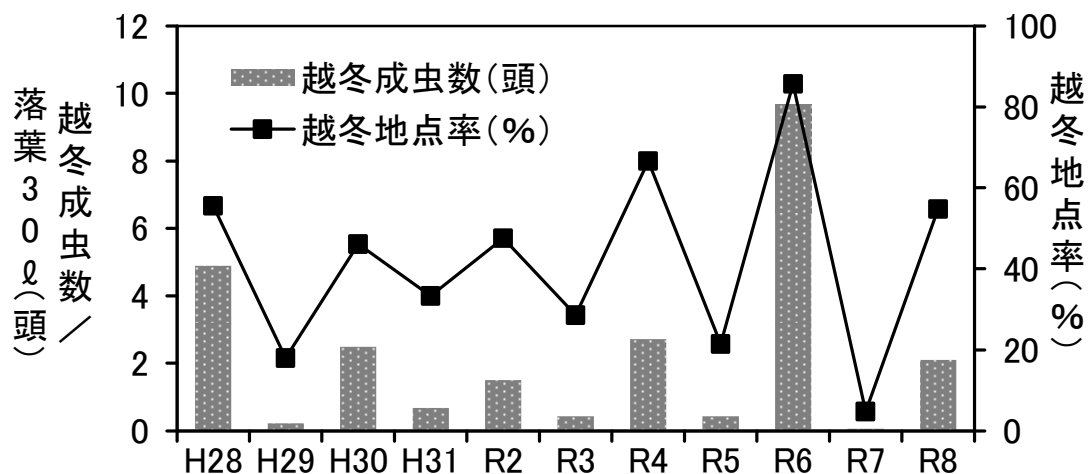


図 チャバネアオカメムシの越冬成虫数及び越冬地点率の年次推移